

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	糖尿病による乳癌細胞のMHC Class Iの発現の解析およびPD-1抗体治療の新たな適応選択指標の確立		
2. 対象患者	下記の期間に乳癌の手術治療を受けた患者さんを対象として実施します。		
3. 対象となる期間	平成20年 1月 1日 ~ 平成30年 12月 31日		
4. 実施診療科等	弘前大学大学院医学研究科分子病態病理学講座		
5. 研究責任者	氏名	工藤和洋	所属 弘前大学大学院医学研究科分子病態病理学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	研究責任者 弘前大学大学院医学研究科分子病態病理学講座 工藤 和洋		
7. 研究の意義	乳癌は、女性における罹患率が年々増加しており、新規治療法の開発が求められています。近年PD-1抗体と呼ばれる薬剤による免疫療法が急速に発達しています。それらは、リンパ球による癌細胞の殺傷を増強するものであり、乳癌に対しても今後行われる可能性があります。この治療が有効な症例もありますが、一方で無効の症例も存在しています。その一因として、癌細胞が細胞表面の「MHC Class I」という分子を低下させることによりリンパ球からの攻撃を回避することが知られています。どのような症例でMHC Class Iが低下しているか予測する手段が必要です。我々は過去の研究報告をふまえて、糖尿病患者では乳癌細胞の MHC Class I の発現が増加し、PD-1抗体治療の治療効果が増強するという仮説を設定しました。この仮説が証明された場合、糖尿病の有無、程度がPD-1抗体治療の適応選択の補助となりうると考えています。		
8. 研究の目的	血糖値によるMHC Class I分子の発現状況の変化を解析し、抗PD-1抗体治療の新規適応基準の確立を目指すものです。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	手術時に摘出された組織標本を使用します。また、カルテから年齢、性別、糖尿病の有無、BMI、空腹時血糖値、随時血糖値、HbA1c値、CRP値、再発・転移・死亡の有無およびその診断日、最終来院日の情報を収集します。 組織標本およびカルテ情報は個人を特定できない状態で、弘前大学大学院医学研究科へ送付され、統計、解析が行われます。		
10. 個人情報の保護	課題経過中及び終了後において、調査結果については、研究目的以外に使用することはない、対象者の個人情報は外部に漏らすことはありません。本研究で得られた個人情報は、データの統計的分析にのみ使用され、学会発表においても個人を特定できる情報を削除します。 対象者の方より拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データは削除いたします。ただし、既に研究結果公表済みの場合は公表済みのデータを修正することは出来ませんのでご了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	本研究における利益相反は一切ございません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科分子病態病理学講座		
	電話	0172-39-5025	FAX 0172-39-5026